

活動情報

取組項目 生物の生息状況の把握

組織名 三区町環境保全隊

那須 管内

那須塩原 市

活動目的：田んぼと生き物の関係についての理解を深める

活動内容：田んぼの土手・水田の土壌・田んぼまわりの生き物を調査

当日は、心配された雨も上がり、43名の親子と営農活動に取り組む農業者20名が参加し、昨年同様に有機水田と慣行水田の2ヶ所で実施しました。

調査は、農業者と親子の組み合わせで、「カエル班」「ウケ班」「特別調査班」に分け行動開始です。

「カエル班」は、なかなか見分けることのできなかつたカエルも、次第に勘所を掴み悪戦苦闘しながら、トウキョウダルマガエル・ニホンアカガエ・ニホンアマガエルを確認することができました。

「ウケ班」は、前日に田んぼに仕掛けておいたウケを引上げて調査したところ、有機水田が99匹、慣行水田には145匹、が入っていました。

「コドラ-ト班」は、田んぼから採取した土を流水で綺麗に流し、白いパレット上の残留物に水を混ぜて微細生物の観察です。



子供も大人も無言で真剣に探した結果、イトミズとユスリカを確認しました。

「特別調査班」は、地域在住の虫博士と一緒に、虫アミと虫カゴを持って田んぼまわりの生き物の調査です。

バッタ・コガネ虫等17種類の生き物を捕獲し、捕獲後は、虫博士と一緒に「生き物の下敷き」と図鑑を見ながら、生きものの名前や特性について勉強しました。

全ての調査が終わったところで、調査結果の報告と話し合いです。

「田んぼに水があるときとない時ではどう違うのか」「初めてドジョウに触った」「昆虫の名前を覚えた」等多くの感想が述べられました。

保護者からも、「子供たちが必死になってカエルや虫を探している姿を見てうれしかった」「また参加したい」との感想が述べられると同時に、田んぼと生きものとの関係についての説明にも納得した様子でした。

参加者も、回を数えるごとに多くなり、生きものへの関心が高まったのではないかと喜びながら、約1時間半の生き物調査を大成功のうちに終了することができました。



確認できた主な生きもの